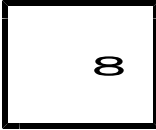
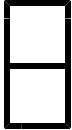


ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



正負の数 1・正負の数

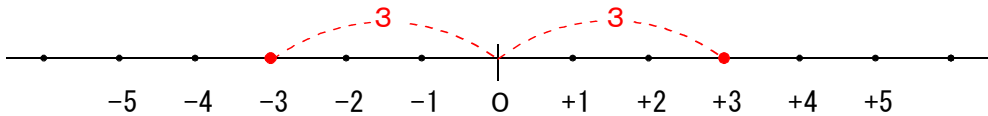
2 数の大小 (その2)

(1 / 8) ■ 絶対値の意味 ■

絶対値の意味

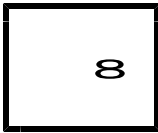
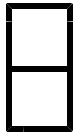
★知識の整理★

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の ぜったいち絶対値という。たとえば、+3は原点から3の距離にあるから、+3の絶対値は3である。-3も原点から3の距離にあるから、-3の絶対値も3である。0の絶対値は0である。



* 正負の数からその数の符号を取りさったものが、その数の絶対値であるとみることできる。

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



正負の数 1・正負の数

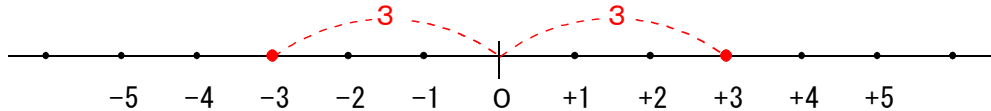
2 数の大小 (その2)

(2/8) ■ 絶対値の意味 ■

◇ 《ある数の絶対値》 **学力化** → /

----- ★理解のチェック★ -----

- (1) 数直線上では、絶対値は何を表していますか。
- (2) 下の数直線を見て答えなさい。



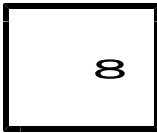
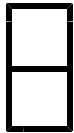
- ① +5の絶対値を求めなさい。 ② -5の絶対値を求めなさい。
 - ③ 0の絶対値を求めなさい。
- (3) 次の [*] にあてはまる数字を書き入れなさい。
絶対値が1である数は、 [*] と [*] の2つあり、これらの数を数直線上に表すと、 [*] からの距離が等しい。
同様に、絶対値が2である数は [*] と [*] の2つある。

【考え方】 (3) 絶対値が1である数は、数直線上では、原点からの距離が1の数であるから、右の方向と左の方向の2種類があります。

[答 案]

- (1) 数直線上では、絶対値は [] を表している。
- (2) ① +5の絶対値は、原点から+5までの距離だから [] である。
② -5の絶対値は、原点から-5までの距離だから [] である。
③ 0の絶対値は、原点から 0までの距離だから [] である。
- (3) 絶対値が1である数は、 [] と [] の2つあり、これらの数を数直線上に表すと、 [] からの距離が等しい。
同様に、絶対値が2である数は [] と [] の2つある。

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



正負の数 1・正負の数

2

数の大小 (その2)

(3 / 8) ■ 絶対値の意味 ■

◇ 《ある数の絶対値》 **学力化** → / .

★演習★【1】

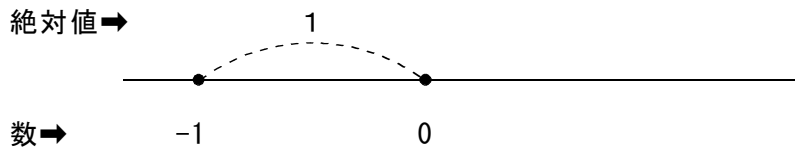
次の数の絶対値をいいなさい。

- (1) -1 (2) $+8$ (3) -0.5 (4) $\frac{3}{5}$

【考え方】ある数の絶対値は原点からの距離を表します。

[答 案]

*上の数を数直線上に目盛りなさい。ただし、数の大小関係がわかる目盛り方でかまいません。数の間隔は考える必要はありません。また、例にならって絶対値を数直線にかき入れなさい。(絶対値は符号のない数値で表します。)



*上の数直線を見て、次の問いに答えなさい。

(1) -1 の絶対値は [] 。

どうしてそういえますか。

(理由) :

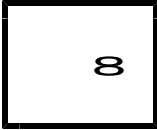
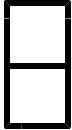
(2) $+8$ の絶対値は [] 。

(3) -0.5 の絶対値は []

(4) $\frac{3}{5}$ の絶対値は []

どうしてそういえますか。

(理由) :



正負の数 1・正負の数

2 数の大小 (その2)

(5/8) ■ 絶対値の意味 ■

◇ 《絶対値をふくむ数の大小》 学力化 → /

★演習★【4】

次の数の中から、下の(1)～(4)にあてはまる数を選びなさい。

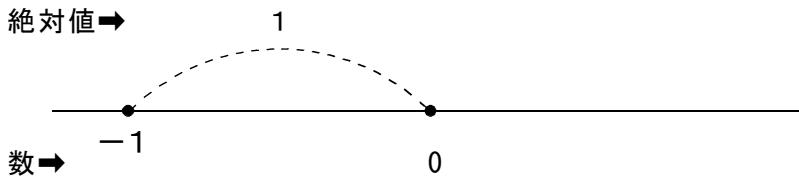
0, ■■■, ■■■, -0.01 , $-\frac{1}{10}$, $+\frac{1}{100}$

- (1) もっとも大きい数 (2) もっとも大きい負の数
(3) 絶対値がもっとも小さい数 (4) 絶対値が等しい2数

【考え方】(3), (4) 絶対値は0からの距離を表す数だから、正、負の数を含めて最も0に近い数を答えます。

[答 案]

*上の数を数直線上に目盛りなさい。ただし、数の大小関係がわかる目盛り方でかまいません。数の間隔は考える必要はありません。
また、例にならって絶対値を数直線にかき入れなさい。
(絶対値は符号のない数値で表します。)



*上の数直線を見て、次の問いに答えなさい。

(1) もっとも大きい数は [] 。

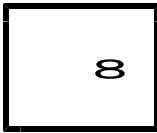
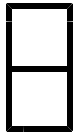
(2) もっとも大きい負の数は [] 。

(3) 絶対値がもっとも小さい数は [] 。

(4) 絶対値が等しい2数は

[]

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



正負の数 1・正負の数

2 数の大小 (その2)

(6 / 8) ■ 絶対値の意味 ■

◇ 《絶対値の大小(整数と小数)》 **学力化** → / ,

★演習★【5】

次の各組の数を、絶対値の小さいほうから順に並べなさい。

(1) +5, 0, ■■■, -1

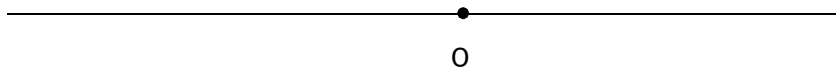
(2) +0.03, -0.02, ■■■■■, 0.2

【考え方】絶対値は、0からの距離だから、数を数直線上に目盛って調べます。

[答 案]

*上の数を数直線上に目盛りなさい。ただし、数の大小関係がわかる目盛り方でかまいません。数の間隔は考える必要はありません。

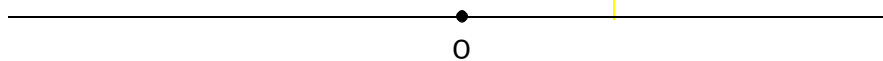
(1)



答 絶対値の小さい数から順に並べると

[]

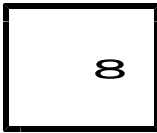
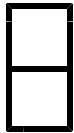
(2)



答 絶対値の小さい数から順に並べると

[]

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



正負の数 1・正負の数

2

数の大小 (その2)

(7/8) ■ 絶対値の意味 ■

◇ 《絶対値の大小(小数と分数)》 **学力化** → / ,

★演習★【6】

次の各組の数を、絶対値の小さいほうから順に並べなさい。

$$-4.5, \quad \blacksquare, \quad -\frac{11}{2}, \quad \blacksquare$$

【考え方】 分数と小数を含む数の大小比較では、分数を小数になおして比べます。

分数は、分子÷分母で、小数に直すことができます。

* 割りきれない場合 小数点以下は、他の数値と大きさを比較できる位まで計算しておきます。

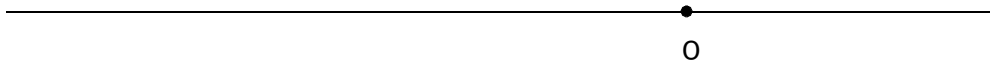
[答 案]

* 上の数を数直線上に目盛りなさい。ただし、数の大小関係がわかる目盛り方でかまいません。数の間隔は考える必要はありません。

1 分数は、小数に直しておく。

$$-\frac{11}{2} = [\quad]$$

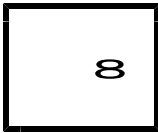
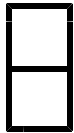
2 数を数直線に目盛る。



答 絶対値の小さい数から順に並べると、

[]

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



正負の数 1・正負の数

2 数の大小 (その2)

(8/8) ■ 絶対値の意味 ■

◇ 《絶対値の大小(小数と分数)》 **学力化** → / ,

★演習★【7】

次の各組の数を、絶対値の小さいほうから順に並べなさい。

$$-\frac{1}{3}, \quad \blacksquare, \quad +\frac{1}{4}, \quad \blacksquare$$

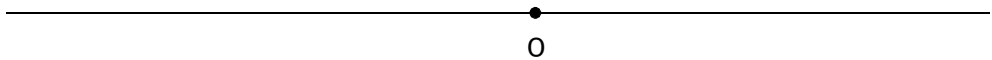
[答 案]

*上の数を数直線上に目盛りなさい。ただし、数の大小関係がわかる目盛り方でかまいません。数の間隔は考える必要はありません。

1 分数は、小数に直しておく。

$$-\frac{1}{3} = [\quad \quad \quad], \quad +\frac{1}{4} = [\quad \quad \quad]$$

2 数を数直線に目盛る。



答 絶対値の小さい数から順に並べると

[\quad \quad \quad]